

IV 参 考 文 献

- 北隆館 原色昆虫大図鑑 I
保育社 原色日本蛾類図鑑
神戸新聞出版センター 六甲の自然

明石市でヒメタイコウチ見つかる

三 宅 隆 三

1985年8月24日 神戸大丸百貨店において行われた神戸生物クラブ主催の「作品鑑定会」にヒメタイコウチが持ちこまれた。原田貴晴（神戸市立桜の宮小学校5年）君で、8月6～7日に採集したという。生きたままの2匹が持ちこまれたが、2日間で28匹を捕えている。採集場所が定かでなかったため、8月31日に貴晴君と彼の父親の2人にご案内いただいたところ、明石市大久保町松蔭にある“中笠池”であった。この日も、貴晴君が6匹、私が2匹の計8匹を採集した。貴晴君は、ザリガニとりに来ていて偶然に見つけたとのことである。以下の点で重要と思われるので報告する。

ヒメタイコウチは、愛知県を中心に濃美平野の各地によく見つかっているが、日本での最初の発見地が西宮市であり、兵庫県には緑の深い昆虫の一つである。また、生息地が局限的で神戸市西区榎谷町が西限であったので、こん回の発見は、それを修正するものとなり大きな意義がある。

明石市を東にして東播、中播地区には多くのため池があり、発見例が続くように思われる。ヒメタイコウチは、氷河時代に朝鮮半島を経て日本に侵入したと考えられていることを合わせると、生息域は、さらに西に広がるものと予想できる。

ヒメタイコウチの分布域と生態に関する文献

三 宅 隆 三

ヒメタイコウチが明石市内で見つかった。神戸市西区榎谷が西限とされていたのが、今回の発見で分布域はさらに西に広がった。ところで、ヒメタイコウチを見つけても、分布域が局限的である